

「今、ここ、このこと、
く執着しゆうじやくを乗り越えてく」

令和八年六月二十五日 加茂法話会

一、『茶ちに逢おうては茶ちを喫きつし、飯はんに逢おうては飯はんを喫きつす』諸嶽開山二祖そ禪師行録

■令和八年度管長告諭から

一杯のお茶が出されたならば、それを丁寧にいただく。而今いまなすべきことは、心を込めてつとめる。毎日が、かけがえのない「縁」と「いのち」の営みであることを自覚し、世界中の人びとが誰一人取り残されることのないよう、ともに願ねがい、祈り、まずは自分自身から正しい信仰の生活を営んでまいりましょう。

二、吉澤家四代の歩み 正五↓浩志↓大岩彩子↓大岩あやこ凧なぎ(中二)

三、搭袈裟たっけさの偈げ

大哉解脱服 大いなる悟りの袈裟

無相福田衣 とらわれの無い衣

被奉如来経 仏の教えを身に纏う

広度諸衆生 広く衆生を救うことだ

四、さびしいとき 金子みすゞ

私がさびしいときに、よその人は知らないの。

私がさびしいときに、お友だちは笑うの。

私がさびしいときに、お母さんはやさしいの。

私がさびしいときに、仏さまは○○○○。